広島県公立高校出題傾向と対策／社会

傾　向

【出題傾向】

全24問のうち、記述問題が15題、記号問題4題、語句記入問題が5題となり、配点50点のうち昨年と変わらず、実に40点が記述問題です。地理的分野、歴史的分野及び公民的分野の3分野にわたって、基礎的・基本的な知識・理解、各種の資料を活用して考察する能力及び考察した過程や結果を表現する能力が問われた出題となりました。問題構成は昨年と同様で大問4つの構成でした。各大問では一つのテーマに沿って出題がされております。大問１が地理分野、大問２が歴史分野、大問３が公民分野から出題ですが、それぞれ融合問題にもなっており、ともにあるテーマに沿って関連した問題が3年連続で出題されました。大問4は例年通り総合分野からの出題で、地方公共団体の活性化を題材として、地理的・社会的事象について、資料を読み取って考察し、表現する問題でした。今後も同様の傾向が続くことが予想されます。
ここ数年、問題にかかわる文章が長くなってきており、さらにはより多くの資料・グラフが用いられています。記述問題が多いこともあり、問題を短時間で読み取って解く訓練が必要です。

【地理の傾向と対策】

2019年度は茶の生産を素材として取り上げ、日本地理・世界地理の融合問題としての出題、うち6題中4題が短めの記述問題で、いずれも資料を読み取って考察し、表現する問題でした。今後も同様の傾向が続くことが予想されるので、世界地理・日本地理のいずれかに偏った学習ではなく、日本と世界の関わりを中心とした、教科書や地図帳の統計資料などから何が読み取れるのかを意識しながら学習していく必要があります。

【歴史の傾向と対策】

メモ形式でまとめられた時代別の税と政治の仕組みにが基本テーマであり、地図や資料を読み取って考察する設問となりました。7問中5問が記述問題でした。今後もあるテーマに沿って広い時代にわたっての出題が予想されるので、各時代の産業や生活、文化、事件等の基礎知識が必要です。資料をもとにした記述力を要求する問題がほとんどですが、教科書内容を精読し歴史事象に対する理解力を深め、記述問題演習を積めば十分に対応できます。

【公民の傾向と対策】

今年度は裁判と国民のかかわりを題材とした融合問題で、定期テストで学習したレベルの問題が多く出題されています。最近の傾向として、与えられた課題についての自信の解決策を表現させる問題が出現されるようになりました。これまで以上に、ある事象・問題に対して自分の意見が表現できる訓練が必要とされています。公民も他の分野と同様に、あるテーマに沿って、様々な資料やグラフを通しての特徴を読み取った記述問題が出題されています。そして地理と同様に、教科書などに載っている資料・グラフを利用して、そこから特徴を読み取りノートにまとめる学習は必須です。環境問題や少子高齢化などの社会問題について様々な角度から考察し、ノートにまとめることも重要な学習になります。今年は特に公民分野は学ぶ時期が遅くなり、理解が深まるまでの繰り返し学習がなかなかできません。入試に向けて早めの学習が必要です。

広島県公立高校入試出題一覧表／社会

		出題内容	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
地理分野	地理	地球儀と地図(経線・緯線・時差など)	○	○	○	○					
		世界の国々 (地形・言語・宗教・気候など)	○		○		○				
		日本のすがた		○					○	○	
		身近な地域(地形図)		○	○						○
		都道府県の調査(日本各地の様子など)		○		○		○	○	○	
		世界の国々の調査(世界各地の様子など)			○	○	○	○			○
		日本の国土・人口			○	○		○			
		日本の産業・資源・貿易	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		環境問題	○	○		○	○				
中2領域	近世以前	古墳時代まで	○						○		
		飛鳥時代		○	○				○		○
		奈良時代		○	○	○		○	○	○	
		平安時代		○	○		○	○	○		
		鎌倉時代	○	○			○	○	○		
		室町時代		○	○	○	○		○	○	○
		安土桃山時代	○	○	○	○	○		○	○	
		江戸時代		○		○	○	○	○	○	○
	近代	明治時代	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		大正時代		○		○	○		○		
		昭和時代	○	○	○	○	○	○	○	○	
		平成時代					○		○		○
公民分野	民主政治	日本国憲法	○		○						
		国会			○						
		内閣		○	○			○	○		
		裁判所		○					○		○
		地方自治		○		○	○				
		選挙・世論			○						
	生活と経済	物価			○	○			○		
		金融							○		
		生産(労働)						○		○	
		財政	○			○	○		○		
		社会保障	○	○	○	○	○				
	国際社会	国際連合	○	○	○					○	
		国際経済(貿易)		○	○	○	○		○		
		日本の役割									